

## 「FX10 スーパーコンピュータシステムの利用方法について」記載内容の訂正について

システム運用係

スーパーコンピューティングニュース Vol.14 No.2(2012.3)で、お知らせしておりました「FX10 スーパーコンピュータシステムの利用方法について」ですが、試験運転開始時点で一部変更および訂正がありましたのでお知らせいたします。なお、試験運転期間中は、システムの設定変更等のため、予告なく運転の停止、運用仕様の変更を行う場合がありますので、予めご了承ください。

### p.20 表 5. Fortran コンパイルコマンド

誤字訂正

誤) スレッド並列化(OpenMP) `frptx -Kfast , openmp`  
正) スレッド並列化(OpenMP) `frtpx -Kfast , openmp`

### p.21 表 7. C コンパイルコマンド

誤字訂正

誤) スレッド並列化(OpenMP) `fcctx -Kfast , openmp`  
正) スレッド並列化(OpenMP) `fccpx -Kfast , openmp`

### p.22 図 2. インタラクティブの実行例 (2)

ノード数の修正 (最大 8 ノード)

変更前)

`[z30000@oakleaf-fx-1 ~]$ pjsub --interact -L "node=12"` インタラクティブジョブ (12 Node) を起動

変更後)

`[z30000@oakleaf-fx-1 ~]$ pjsub --interact -L "node=8"` インタラクティブジョブ (8Node) を起動

誤字訂正

誤) `[z30000@e10-087 ~]$ mpiexec /a.out` (カンマ)  
正) `[z30000@e10-087 ~]$ mpiexec /a.out` (ピリオド)

### p.23 1.2

誤字訂正

誤) 3.1 にある、主な利用形態ごとのバッチジョブスクリプト例を示します。  
正) 3.2 にある、主な利用形態ごとのバッチジョブスクリプト例を示します。

### p.23 図 4. バッチジョブの実行例 (2) (スレッド並列ジョブ)、 図 7. バッチジョブの実行例 (5) (ハイブリッド並列ジョブ)

環境変数の指定条件の変更

変更前)

`export OMP_NUM_THREADS=16` スレッド数の設定 (`OMP_NUM_THREADS`,  
`export PARALLEL=16` `PARALLEL` の指定は必須)

変更後)

`export OMP_NUM_THREADS=16` スレッド数の指定 (OpenMP のとき `OMP_NUM_THREADS`,  
`export PARALLEL=16` 自動並列化のとき `PARALLEL` の指定が必須)

### p.25 図 9. バッチジョブの状態確認 (イメージ)

`pjstat` コマンドの表示内容の変更

(試験運転開始時点における変更後のイメージを掲載します。)

```
[z30000@oakleaf-fx-1 ~]$ pjsub a.sh          バッチジョブの投入
[z30000@oakleaf-fx-1 ~]$ pjstat             状態確認
Oakleaf-FX scheduled stop time: 2012/04/23 (Mon) 09:00:00 (Remain: 21days 14:13:06)
```

```
JOB_ID  JOB_NAME  STATUS  PROJECT  RSCGROUP  START_DATE      ELAPSE      TOKEN NODE
1234    job.sh    RUN     pz0000   small     04/01 18:45:47  00:01:06   3.1 96
1235    job.sh    QUE     pz0000   small     (04/01 19:20:00) 00:00:00   6.0 12
[z30000@oakleaf-fx-1 ~]$
```

【 各項目の説明 】

`pjstat` コマンドで表示される内容の主な項目は以下の通りです。ヘッダ情報として、定期保守予定日を表示します。

JOB_ID	ジョブ ID
JOB_NAME	ジョブ名
STATUS	ジョブ状態 (QUE : 実行待ち、RUN : 実行中)
USER	利用者番号
PROJECT	プロジェクトコード
RSCGROUP	リソースグループ名 (キュー名)
START_DATE	ジョブ実行開始時刻。ジョブが実行前の場合には、ジョブ実行開始予測時刻 (時刻にカッコが付きま)
ELAPSE	経過時間 (ジョブが開始されてからの時間)
TOKEN	トークン使用量 (状態表示時の使用量)。ジョブが実行前の場合には、トークン予測使用量 (使用量にカッコが付きま)
NODE	ジョブ投入時の指定ノード数

グループ管理者は、`pjstat` コマンドに `-A` オプションを付与すると、グループ内利用者のジョブ情報を参照できます。なお、グループ内利用者は自ジョブ情報のみ参照可能です。

```
[z00000@oakleaf-fx-1 ~]$ pjstat -A
Oakleaf-FX scheduled stop time: 2012/04/23 (Mon) 09:00:00 (Remain: 21days 14:12:44)
```

```
JOB_ID  JOB_NAME  STATUS  USER     PROJECT  RSCGROUP  START_DATE      ELAPSE      TOKEN NODE
92752   job.sh    RUN     z00001   gz00     small     04/01 18:45:47  00:01:29   4.2 96
92753   job.sh    RUN     z00002   gz00     small     04/01 18:45:48  00:01:28   4.1 96
92755   job.sh    RUN     z00002   gz00     small     04/01 18:46:01  00:01:15   0.3 12
92756   job.sh    QUE     z00001   gz00     small     (04/01 19:20:00) 00:00:00   6.0 12
[z00001@oakleaf-fx-1 ~]$
```